

大谷學報

第三十四卷 第三號

昭和二十九年十二月二十日發行

明末の天臺學匠

幽溪傳燈の教學……………安藤俊雄……(一)

十住毘婆沙論に於ける如來の名義釋

……………長谷岡一也……(三)

「頗」字訓古少考……………水谷眞成……(九)

「存在と時間」を中心とするハイデッガーの

根據について……………加藤隆生……(三七)

天皇の象徴的性格……………今井直重……(五九)

新刊紹介……………(七)
彙報……………(六)

大谷大學

大谷學會

前 號 目 次

輪廻の思想的根據……………	雲井昭善
十住毘婆沙論研究序説……………	上杉思朗
ぬけだした かな文字……………	水田紀久
—— おくりがな史の一断面 ——	
享祿の錯亂について……………	北西弘
—— 加賀山内庄を中心として ——	

次 號 豫 告

教行信證に於ける教行の關係……………	稻葉秀賢
Schelling に於ける Natur in Gott の概念……………	阿部行人
—— 自由論に於ける惡の根源の問題 ——	
淨土莊嚴の意義……………	永田敬信
鎌倉時代のシトム……………	瀧岡孝昭
—— 親鸞聖人の場合を中心に ——	
新出の親鸞聖人眞筆の太子奉讀に因みて……………	日野環

THE
OTANI GAKUHO
(THE JOURNAL OF
BUDDHISM AND CULTURAL SCIENCE)

CONTENTS

Articles :—

- Teaching of 幽溪伝燈, a Tendai Scholar in the
Latter End of Ming.Toshio, Andō.
Etymological Interpretations of the Term, “Tathagata,”
Seen in the Daśabhūmivibhāsa-Śāstra.....Ichiya, Hasheoka
Notes on the Character, “頗”.....Shinjō, Misutani.
“Der Grund” in Heidegger’s Philosophy.Ryūshō, Katō.
Tenno as Symbol.Naoshige Imai.

Book Review

Reports

PUBLISHED FOR THE OTANI SOCIETY
THE OTANI UNIVERSITY
KYOTO, JAPAN.

大谷學會會則

第一條 本會は大谷學會と稱し、事務所を大谷大學内に置く

第二條 本會は佛教學・哲學・史學・文學並びにこれに關連する諸般の研究及びその發表を目的とする

第三條 本會の會員は大谷大學教職員・學生及び本會の趣旨に賛同する者とする

第四條 本會は左の事業を行う

一、「大谷學報」(年四回)及び

「大谷大學研究年報」を發行する

二、毎年春秋二回公開講演會を開く

三、隨時研究會を開催する

四、その他圖書の出版等必要な事業を行う

第五條 本會に左の役員を置く

一、會長 一名

二、理事 二名

三、委員 十名

第六條 役員の任務を左の通り定める

一、會長は本會を代表し、會務を統

理する

二、理事は會長を補佐する

三、委員は編集・庶務・會計の事務を分掌する

第七條 役員の選出及任期を左の通り定める

一、會長は大谷大學々長がこれに當る

二、理事は大谷大學々務部長並びに庶務部長がこれに當る

三、委員は大谷大學教授・助教授の互選により、その任期は二年とする

第八條 會員は「大谷學報」及び「大谷大學研究年報」の配布を受け、本會主催の會合に出席する事が出来る

第九條 會員は會費として年額金五百圓を納めるものとする

第十條 本會則は大谷大學教授會の決議によらなければ變更する事が出来ない

附則 本會則は昭和二十七年四月一日から實施する

以上

大谷學會役員

會長 山口 益

理事 多屋頼俊 中島正賢

委員 池田義祐 稻葉秀賢 横超慧日

杉平頼智 中田勇次郎 名畑應順

野上俊靜 藤島達朗 三品彰英

山田亮賢

補助委員 齊藤敏明

會計委員 吉田嘉一郎
囑託

昭和二十九年十二月十五日印刷
昭和二十九年十二月二十日發行

編集兼 發行者 多 屋 頼 俊

印刷者 西 村 七 兵 衛

京都市上京區小山上總町
大谷大學内

發行所 大 谷 學 會